

呼吸器外科（担当部門：必修外科・選択科目）

診療科 HP (<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~secsurg/index.html>)

研修目標（1～2ヶ月の研修）

- 縫合、結紮などの基本手技が習得できる。
- プレゼンテーションの要点が理解でき、一人で作成し行うことができる
- 手術適応や術後合併症が理解できる
- 呼吸器の代表的疾患について理解し、必要な検査や治療を説明することができる。
- 呼吸器の解剖学の理解ができ説明することができる
- 症例報告に関わることができる

研修内容、経験できる症例や手技

手術助手、病棟業務が中心になります。ただし、漠然と業務を行うのではなく EBM に基づいた医療となるように研修します。日々の研修の中で、医師としての人格の涵養、患者中心の診療、リサーチマインドの修得などの多面的な学習の視点を支援します。信頼され、最愛の人に提供できる医療を目指します。呼吸器外科領域全般の疾患を経験でき、胸腔鏡手術では助手として症例を経験します。基本的な外科手技（縫合、結紮）、気胸や膿胸などへの胸腔ドレナージ、創部管理、呼吸管理、輸液管理、術後合併症への対応、抗菌薬の選択と使用方法、既往疾患への理解や対応、気管支鏡検査、超音波検査、局所麻酔の方法と実施、リハビリテーション、緩和ケア、救命処置などの手技や検査、処置を経験できます。

診療科紹介

呼吸器の外科のプロフェッショナルとして、呼吸器領域、外科領域の両方の習熟を目指します。特に肺癌については、手術や抗がん剤の標準的な治療はもちろんのこと、大学病院ならではの挑戦的、発展的な診療を取り入れています。将来に大きな夢を持ち、先進的な医療を学びたいという熱意のある方をお待ちしています。初期研修から外科専門医および呼吸器外科専門医研修カリキュラムも網羅した研修を行うことができます。また個人の実績としての発表、論文作成を目指してもらいます。積極的に研修することで、未来を担う人材を育成します。

研修時のスケジュール

曜日	午 前	午 後
月	病棟業務	病棟業務、術前後カンファレンス
火	手術	手術
水	病棟カンファレンス、回診	病棟業務
木	手術	手術
金	病棟カンファレンス	病棟業務

推奨図書：呼吸器外科テキスト、呼吸器外科手術書、プロメテウス解剖学アトラスなど解剖のアトラス、肺癌取り扱い規約、肺癌診療ガイドライン、マクギーのフィジカル診断学、気管支鏡テキスト

準備物：聴診器